

児童に関する事犯・規約違反行為への対策強化のお知らせ

この度、2017年10月19日に警察庁より発表されました「平成29年上半期におけるコミュニティサイト等に起因する事犯の現状と対策について」にて、弊社が運営しております、学生専用SNSひま部（以下、ひま部）を利用した事犯による被害児童数が93人であることが発表されました。ひま部は全国の生徒・学生が集まり、お互いの趣味・関心・悩みなどを気軽にコミュニケーションできることを目的としたサービスです。今回、係る事案が発生したことについて、弊社として厳粛に受け止め、下記の通りに対策を実施していくことをお知らせいたします。いつもサービスをご利用いただいております生徒・学生の皆様、保護者の皆様をはじめとする関係者の皆様に、多大なご心配・ご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

記

1. 被害の概要

計測期間：2017年1月1日 - 2017年6月31日

ひま部を利用した事犯による被害児童数：93人

大半の事犯がひま部を経由した後、他社製メッセージアプリで発生しました。

大半の事犯が3歳以上年齢が離れたユーザー間で発生しました。

2. 今後の対策

2017年12月31日までに以下の対策を施行予定です。

他社製メッセージアプリのアカウント交換規制の強化

他社製メッセージアプリの交換行為が発覚した場合、最初の数回までは一定期間のアカウント停止ペナルティを与えていましたが、今後はアカウントの永久凍結を行うことも含め、より一層のペナルティの強化を行います。

世代別ユーザーの接触規制

中学生・高校生・大学生間の世代を超えたコミュニケーションの規制を強化し、年齢が一定以上離れているユーザー間でのひま部内での個人間メッセージのやり取りを禁止します。

全体の運営体制の最適化

ユーザーの増加に合わせてパトロールチームの増員、ならびにAIによる行動解析・ペナルティ自動化の強化を行います。

業界全体での連携強化

警察庁ならびに青少年ネット利用環境整備協議会と連携を深め、個社のみでの対策に終始せず、他社と協力し合いながら、業界全体としての問題解決を弊社が主体的に行います。

全ての生徒・学生の皆様に自分の居場所を安全に提供でき、保護者の皆様をはじめとする関係者の皆様が安心して子供に使わせることが出来るサービスを目指し、誠心誠意、改良を続けて参ります。